

第3回 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会

議事録概要（案）

日時：平成18年3月29日（水）10:00～12:00

場所：ホテルコスモ横浜 3階「平安の間」

【議事録概要】

①移動性障害エリア・箇所について

- ・ 要対策箇所と候補箇所の位置づけが分かりづらい。
 - ⇒ 候補箇所は、道路利用者から頂いた意見から抽出した要対策箇所以外の箇所である。
 - 資料3を修正し、要対策箇所と候補箇所の位置づけを明確にする。

- ・ 栄町交差点は障害感、対策の必要性ともに低いので要対策箇所ではなく、補箇所とすべきではないか。
 - ⇒ 他の地域・箇所と比較した結果、低くなっていることを示しているが、個別に見ると約7割の人が障害と感じている箇所である。

- ・ 選定した要対策箇所を利用者の意見から赤、青、緑、白と4種類に分類しているが優先順位の関係がどのようになっているのか。
 - ⇒ 選定した要対策箇所は全て「障害している」、「対策が必要」と感じられており、その中で分類したものである。分類の中で優先順位をみると、赤が最もプライオリティが高く、次いで白、緑、青となっている。また緑と青には大きな隔たりはない。

②道路利用者からの意見把握方法について

- ・ 行政の効率化が進む中で、アンケート調査手法も効率的にしなければならない。今回、回収率が低かった原因は期間が短い、広報不足など考えられる。原因を分析し、今後アンケートを実施する場合は、回収率があがるようにすべきである。
 - ⇒ 今回のアンケート取得方法について分析し、今後のアンケート調査に活かす。

③リーフレットについて

- ・参考資料4のリーフレットで、神奈川県のは滞は全国ワースト3位、全国平均の3.7倍と記載されているが対策等の目標値などあるのか。また個別事業についても目標値や事業スケジュールを盛り込むべきである。

⇒一般に公表している業績計画書等で、毎年の状況及び中期的な目標値を定めている。個別事業については、目標値や事業スケジュールを盛り込むことを検討する。

- ・選定した要対策箇所を利用者の意見から赤、白、緑、青と4種類に分類しているが「阻害、対策の必要性が低い箇所」という記載では「阻害していない」「対策が必要ない」と勘違いをまねく。

⇒委員長と相談の上、記載方法を検討する。

④今後について

- ・委員会を1年行っただけでは県民に浸透を図れない。一過性でなく2・3年に1回実施するなど定期的に行うことが必要である。またホームページ等を活用して要対策箇所の現状や検討状況等を広報することも必要である。

⇒要対策箇所として選定された箇所の対策の実施状況、また、候補箇所のデータ分析などについて、当委員会にご報告する必要があると考えている。また要対策箇所については現状や検討状況を公表していく。